



Leaf

2005年5月9日
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 利部輝雄

盛岡赤十字病院医療連携だより No.6

副院長2人体制に 就任ご挨拶

基本理念
私たちは、人道・博愛の赤十字精神に
もとづき、みなさまの生命と健康を守る
ために、信頼される医療を実践します。



沼里 進 副院長

本年3月、西城前副院長の退職のため、私が最年長の外科系医師ということで、力不足を承知で副院長ということになりました。私は、インターン制度がなくなっ

て2年目の昭和44年に大学を卒業し、同46年3月まで秋田県立中央病院(現秋田大学医学部)の泌尿器科研修医、同4月から岩手医大泌尿器科助手、同51年6月から当院医師として勤務し、はや29年になろうとしています。

この間、泌尿器科のことは医大医局の先輩・後輩に、他科のことはそれぞれの専門の先生方にお世話になりながらなんとかやってまいりました。都南のこの地に移転してからも近医の先生方から多くの患者様をご紹介頂き感謝にたえないところでありますが、これからは病院の経営につきましても種々のアドバイスをいただき、地域の皆様に存続してほしいと言われる病院となれるよう意志統一を計りたいと思っております。



村井 啓子 副院長

兼 総合内科第一部長
(地域医療連携室長兼務)

この度、西城副院長のあとをついで内科系副院長と同時に地域医療連携室長という大役を仰せつかり恐縮しております。私は昭和53年に岩手医科大学大学院を卒業すると同時に、故木村武教授(第2内科)に盛岡赤十字病院勤務を命ぜられ早や27年になります。この間は直接的には岩手医大第2内科の諸先生方、及び同門会の先生方にご指導頂くと同時に、岩手医大各医局の他科の諸先生方にも大変お世話になり感謝しております。特に昭和62年12月に現在地に移転してからは紫波郡医師会、盛岡市医師会の先生方のおかげで地域の中核病院として働いてきました。

現在、厚生労働省の主導により、1病院完結型ではなく、各医療施設の役割分担を遂行しないとそれぞれの医療施設の経営が立ち行かなくなるようになってきています。当病院は地域の先生方より”紹介”を受けて成り立つ”急性期病院”を選択しています。今後とも、地域の先生方と協調し、地域の先生方に”信頼され””紹介される”ような”質の良い医療”を患者様に提供できるよう今後とも努力する所存ですので御指導御鞭撻のほどお願いいたします。

患者様の個人情報保護について

(日本赤十字社における個人情報の取り扱いについて)

日本赤十字社では、赤十字運動が皆様の多大なご支援ご協力のもとに成り立っていることを深く認識し、個人の人格を尊重する理念の下、業務上知り得た全ての個人情報を、個人情報保護法および社内規程(「日本赤十字社の保有する個人情報保護規程」)に則り、下記のとおり取り扱い、皆様の信頼に応えてまいります。

記

1. 個人の情報は明示された目的のためにのみ使用します。

個人情報をお聞きする場合には、必ず利用目的を明示し、皆様ご自身の意思のもとに情報を提供していただきます。また、ご本人の承諾がない限り、利用目的以外に個人情報を使用することはありません。

2. 個人の情報は第三者に提供いたしません。

個人情報は、ご本人の承諾がない限り、第三者に提供することはありません。

3. 個人の情報はいつでも開示、訂正、追加又は削除します。

お申し出があった時は、ご本人であることを確認し、登録された情報の開示、訂正、追加又は削除を行います。

4. 適用除外について

日本赤十字社では、皆様の個人情報を上記のとおり取り扱いますが、(1)法令に定めがあるとき、(2)本人又は第三者の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、緊急かつやむを得ないときのいずれかに該当するときは、上記の取り扱いを適用しない場合があります。

5. 個人情報の安全管理

日本赤十字社では、皆様からお預りした個人情報について、漏えい、滅失又はき損を防止するために、厳重な安全管理対策を実施いたします。

なお、業務遂行上、やむを得ず個人情報の取り扱いを外部に委託する場合には、必ず日本赤十字社と個人情報保護にかかる契約を結んだ信頼ある業者に委託します。

6. お問い合わせについて

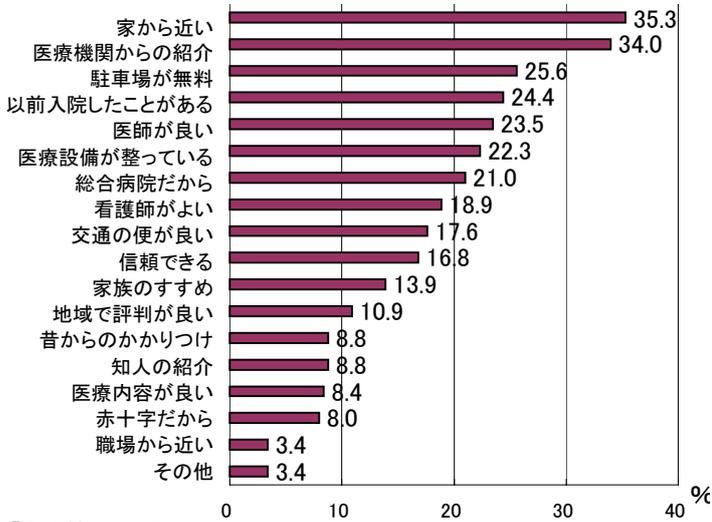
日本赤十字社における個人情報の取り扱いに関してご質問等がある場合は、当院医事第二課(苦情・相談窓口)までご連絡ください。

続報：患者様満足度アンケート調査 結果報告

入院

(入院患者様392名のうち238名回答 回収率61%) 実施日 平成16年9月15日(水)

I 当院を選ばれた理由(複数回答)

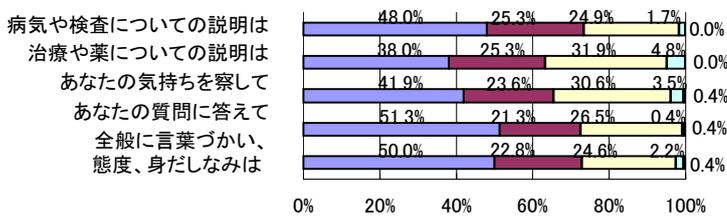


「その他」の内訳

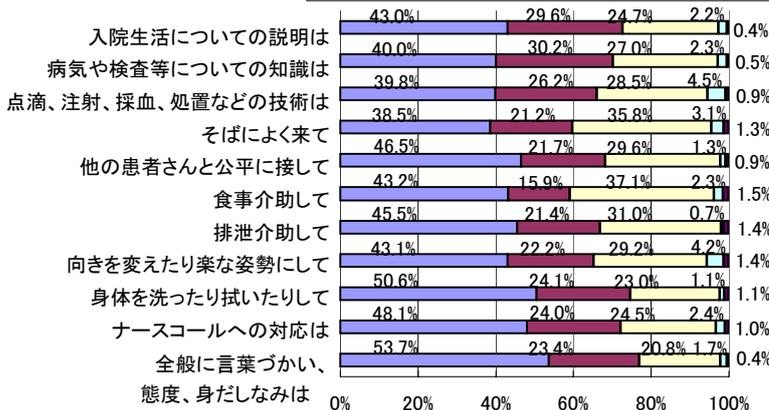
- ・当番医だった
- ・以前に通院していた
- ・かかりつけ医にすすめられた
- ・救急車で運ばれた
- 等

II 対応した職員のことについて

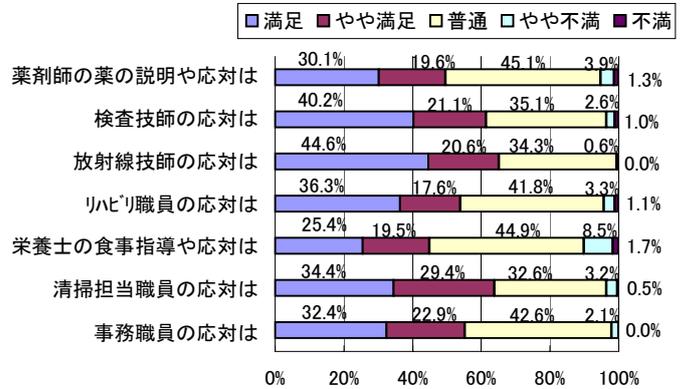
1. 医師について



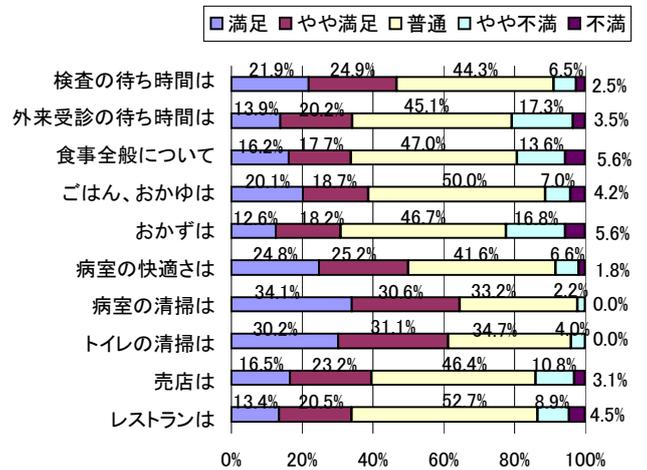
2. 看護師について



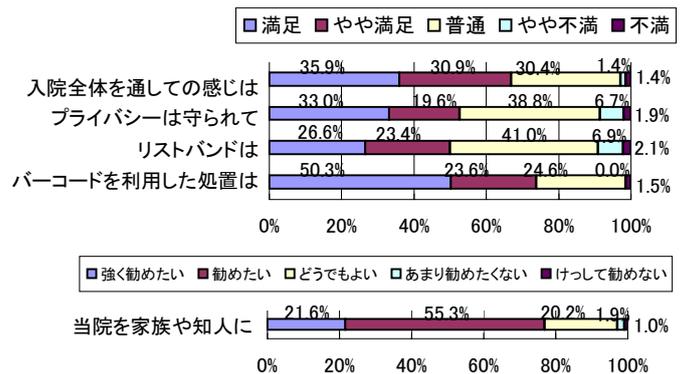
3. その他の職員について



III 待ち時間、食事、施設等について



IV 当院の全般的なことについて



入院患者様も、当院を選ばれた理由の第1位は「家から近い」、2番目は「医療機関からの紹介」で、外来患者様と同様に地域に根ざした病院として評価をいただきました。

当院では、医療の安全性を高めるため入院患者様にバーコードのついたリストバンドを着けていただいております。ご不便をおかけしているため、設問IVのとおりリストバンド自体の評判はととても良いというわけではありませんが、安全性を高める効果についてはご理解をいただいているものと思われまます。

入院生活での最大の楽しみは「食事」と思いますが、設問IIIのとおり低い満足度となりました。家庭での食事に近いものを「おいしい」と言って食べていただけるよう工夫をしていきたいと思ひます。

急性期リハの一層の充実のために

リハビリテーション科部長
兼 脳神経外科副部長
木戸 順



この度、リハビリテーション科部長を拝命し、平成17年1月より勤務しております。しかし、リハビリテーション医療につきまして、専門的な知識や経験は不十分であり、目下、解剖生理から勉強中です。年内には、最新のリハビリ医療を学び、今後の当院でのリハビリの進む道を見定め、数年先までの運営方針を策定したいと考えております。整形外科、脳神経外科、神経内科、内科、外科関係各位には、今後ますますお世話になると思いますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

保険診療上、ないしは医療機能評価上、リハビリテーションの運営に当たり、収益に見合わないような煩雑な手順が要求されています。早急に診療内容を充実させ、役割を果たしていきます。毎週リハビリテーションカンファレンスのため各病棟へ伺いますので、カンファレンスシートへ記載と検討会への参加をよろしくお願いいたします。

ペインクリニック科新設 「痛み」の診療を始めました

担当医 麻酔科部長 岡田 一敏
日本麻酔科学会指導医
日本ペインクリニック学会認定医



「痛み」治療のコンセプト

「痛み」は生体の異常を伝える警告反応であり、必要な生活反応であるが、「痛み」は交感神経、副腎髄質を介したアドレナリンの放出により血管収縮を招き、局所が乏血となる。同時に脊髄、運動神経を介して筋緊張が生じ、局所の乏血を増長する。その結果、組織は低酸素状態になり、内因性の発痛物質が生じ、「痛み」が憎悪する。最初の痛みの原因が消失しても、内因性の発痛物質による「痛み」は持続する。この状態になると難治性で、「痛みの悪循環」と呼ばれる。

発痛物質により「難治性になった痛み」は原因病変が治癒しても、除痛が困難である。薬剤、神経ブロックなどを駆使して、とにかく「痛み」をとり、発痛物質の発生を抑制することにより「難治性になった痛み」の改善を期待する。

主に腰下肢痛、帯状疱疹、帯状疱疹後神経痛、(術後あるいは外傷後の)創傷痛、血管(流)障害などによる「痛み」を診療対象と想定している。なお、原因病変の受診はそれぞれの診療科に紹介して下さい。

診療：火曜日・木曜日 (受付 8:30~11:00)



新任医師の自己紹介コーナー



循環器科
部長
市川 隆

平成17年4月から赤十字病院循環器科にお世話になっております。これまで勤務していた盛岡市立病院に比べ、医師数、患者数に加え、忙しさも2倍になった感があります。

何とか仕事をこなしながら、趣味の釣り、ゴルフ、野球なども続けていきたいと思っております。盛南地区で開業されている先生方にはこれまでも盛南臨床カンファレンスでお世話になっており近親感を持たせていただいております。これからもよろしくお願いいたします。



神経内科
副部長
小原 智子

今年4月より勤務させて頂いております。しばらく岩手労災病院に勤務しており、自家からの通勤生活にどっぷりつかっております。久しぶりの急性期病院と盛岡市内からの通勤に緊張の日々を送っております。院長先生、野崎先生のご配慮を頂き毎週木曜日、大学で痴呆性疾患の勉強をさせて頂いております。皆様方にご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが宜しくお願い致します。



消化器科 医師 宮本 康弘

平成17年4月から勤務しています消化器科の宮本康弘です。今年で医師になって6年目を迎えました。新しい環境にも慣れ、日々の診療に取り組んでいます。顔と名前を覚えてもらえるよう精一杯頑張ります。まだまだ至らない点が多々あると思っておりますが宜しくお願い致します。

退職医師：お世話になりました
3/31 副院長兼循環器科部長

西城 精一
神経内科 医師 水野 昌宣
消化器科 医師 佐藤 亮
4/15 小児科副部長 中村 富雄

＋ 連携室からのお知らせ ＋

5月から

CT・MRI・骨シンチ
放射線科検査をご利用ください。

小児科に 千葉 睦実 医師 が着任いたしました。
産婦人科に 塚原 みほ子 医師 が着任いたしました。

.....自己紹介は次号にて.....



3人の放射線科専門医が「読影レポート」をお送りしております。

①放射線科外来に直接電話で検査日時をご予約いただき連携室に予約済みのFAXをお送りいただくか、②連携室に検査希望日を予約用紙でFAXして下さい。

①、②どちらでも予約できます。

売店が新しくなりました

4/20、コンビニのファミリーマートが開店しました。車椅子OK、病院で需要の高い商品構成、そして24時間営業。県内の病院でコンビニが営業するのは初めてとかな？

院内で携帯電話が使えます

試行期間を経て、お使いいただけるようになりました。

院内ではマナーモードに、禁止区域はマークで表示してあります。

